

—感謝の気持ちを行動で示します—

沖縄県
議会議員
(自由民主党)

中川 京貴

キヨキ

議会ニュース

事務所 〒904-0204 嘉手納町水釜6丁目10番7号

TEL 098-956-9731

E-mail: info@k-nakagawa.jp

ホームページをご覧ください。

http://k-nakagawa.jp



自民党会派

vol.14

沖縄県議会

〒900-0021
那覇市泉崎1-2-3
沖縄県議会棟603号
TEL.098-866-2754
FAX.098-866-2773



平成28年2月 一般質問



平成27年10月 一般質問



平成27年10月 一般質問



平成27年12月 定例会

政策実現!

この度、中川京貴の議会内外の活動状況「第十四号議会活動ニュース」を作成致しましたので、皆様方にご報告申し上げます。ご一読いただければ幸いです。

● 沖縄県 平成二八年度当初予算は、一般会計約七千五百四十二億円、特別会計約千五百六十六億円、企業会計約千六百六十六億円の規模となっております。

● 平成二七年度補正予算は、一般会計約六十八億八千九百九十九円、内訳は、予算議案三十九件、条例議案三十九件、議決議案十件、同意議案一件、県議会二月定例会に提案、審議することになりました。

● 「沖縄二十一世紀ビジョン基本計画」は計画期間十年の折り返しに入っており、平成二八年度内閣府沖縄関係予算は、沖縄振興交付金(一括交付金)千六百十八億円、那覇空港滑走路増設事業費三百三十億円、(総事業費約千九百九十三億円)沖縄科学技術大学院大学の拡充に要する予算百七十六億円、鉄軌道の調査費一億二千四百万円等を含め、昨年度に比べ九十億円増の総額三千四百二十九億円が確保された。

● また、政府においては、「経済財政運営と改革の基本方針二〇一五」において、引き続き、国家戦略として、沖縄振興策を総合的・積極的に推進するとしている。

● 沖縄関連税制についても、二〇一四年十二月、我が県連の強い要望を受け、政府・与党は駐留軍用地の公共用地先行取得に係る課税の特例措置の拡充、揮発油税及び地方揮発油税の軽減措置の延長、電気事業者の発電に係る石油石炭税の免税措置の延長などを決定し、本県経済振興への配慮を示している。

● そのためには、政府による財政や特別措置等の支援が必要である。

● 「子どもの貧困対策」においては、「子ども貧困対策推進基金」などを含め総額約六〇億円。

● 新規の「県外進学大学生支援事業」は八百七十五万円。「ひとり親家庭等認

可外保育施設利用補助事業」は四百世帯分に当たる一億八千八百三十一万円。

● 母子家庭等医療助成事業費(市町村が実施主体となる)は、私が一般質問で提案し、実現した「自動償還払い」を推進するためのシステム改修費として約三千五百万円を含む三億四千七百六十四万円。

● 社会基盤においては「沖縄都市モノレール延長整備事業」には二〇一五年度比二十億円増の百四十一億七千三百六十七万円を充て、二〇一九年度の開業に向けた工事を進める。

● 教育においては、高校生の授業料以外の教育費負担を軽減するための経費として十三億七千九百二十万円。

● アジア経済戦略においては、与那原町と西原町にまたがる中城湾港マリンタウン地区への大型MICE施設建設を進めるため、二〇一五年度比七十九億五千四百七十七万円増の八十億四千四百二十九万円。

● 離島振興においては、離島の活性化を図る離島観光・交流促進事業(島たび事業)に一億八千八百八十万円。離島の割高な生活費を低減するため、本島からの食品などの輸送費に補助する離島食品・日用品輸送等補助事業に一億八千六百六十四万円。離島との情報格差を減らすため本島と海底光ケーブルを結ぶ離島地区情報通信基盤整備推進事業に三〇億二千二百万円。

● 基地・戦後処理においては、不発弾の探査事業は二十八億八千四百四十二万円。

● 医療・福祉においては、保育士の処遇改善を目指す保育所など事業者への支援経費として一億四千二百五十万円、保育士試験の受験者や保育士の年休取得支援のための経費九千五百三十九万円。

● 経済振興においては、西普天間住宅地区の跡地利用を念頭に、先端医療実用化推進事業に二億百四十四万円。国際物流拠点産業集積地域のうるま・沖縄地区に賃貸工場を整備するため八億四千六百六十一万円。

記者のメモ

殺処分ゼロに妙案開陳



○：大猫の殺処分ゼロを訴える中川京貴議員(自民、中頭郡区)。「ワルトラCを思いついた」と県議会主環境委員会提案したのは、県の予算で、動物アライドを募集する施設。餌代はペットを飼えなくなつて施設に預ける飼主に寄付をお願いする。県は受け入れ市町村を探してほしいとのアイデアに、生活環境部も「市町村に呼び掛けてみる」と前向き。地元で牧場を経営するだけに、動物愛護の思いは誰にも負けない?

平成 28 年 3 月 15 日 沖縄タイムス

記者のメモ

多くの支持に男泣き?



○：地元の嘉手納町で議会報告会を開いた中川京貴議員(自民、中頭郡区)。昨年は約450人の支援者が集まったが、こじは野党で迎えただけに「人が集まってくれたかな不安でいっぱいだった。ふたを開ければ、昨年を上回る約600人が詰め掛け、取り越し苦労に選挙で公約した子どもの医療費無料化、公共工事の最低制限価格引き上げの進展や、軽便鉄道の復活に取り組んでいることを説明すると、大きな拍手が起き「俺の活動は間違っていないかった。あまりのうれしさに男泣きしたい気分?」

平成 27 年 11 月 27 日 沖縄タイムス

記者のメモ

太平洋よりも大きな夢



○：新たな海の観光活用を提言している中川京貴議員(自民、中頭郡区)。一つは那覇から中北部への高速船。「大田昌秀県政で県単独事業で挑戦したが、うまくいかなかった。現在は一括交付金を活用できるはずだ」と交通滞りに巻き込まれないスムーズな移動の実現を主張する。もう一つは海のサファリパーク。「既存の定置網をダイビングエリアとして活用し、港ではレストランで食も楽しめる」と夢は膨らみ、6月定例会では知事から「情熱、夢がある」と答弁を引き出し「満悦の様子」。

平成 27 年 7 月 21 日 沖縄タイムス

子育て支援について(子ども医療費助成制度)

嘉手納町は、平成21年4月医療費の無料制度(入院通院が中学3年まですべて無料。現在は給食費も無料になっております。私は県議会に当選以来、小学校1年から中学3年まで医療費の無料制度を段階的に引き上げるべきだと一般質問で取り上げてまいりました。その結果、県は平成27年10月1日より小学校1年未満(就学前)まで医療費の無料化制度が全市町村でスタート致しました。その対象者数と予算、市町村との取り組み、課題について

問 全国での現物給付制度または自動償還払いの状況、市町村の取り組みについて

答 平成27年度4月現在、現物給付が23都県、現物給付と償還払いの併用が15府県、自動償還が7県、償還払いが2県。県内の自動償還払いにつきましては、平成25年11月から市町村において順次導入されており、平成27年10月現在、35市町村で導入されております。

問 貸付制度を導入し、病院窓口での医療費の支払いをなくし、見える形での子育て支援はできないか。

答 沖縄県では、子ども医療費助成制度の充実のため、病院窓口での支払いが困難な方に対する貸付制度を導入することとしております。現在、実施主体である市町村と勉強会を実施し、そのスキーム等について検討している。



まだまだ!

子の医療費改善策に熱

〇…子どもの医療費をめぐる制度の改善を訴える中川京貴県議(自民、中頭郡区)。県が経済的な事情で医療費を一時負担できない家庭に対して、負担を軽減し、診療を受けられるようにする。県が経済的な事情で医療費を一時負担できない家庭に対して、負担を軽減し、診療を受けられるようにする。



記者のメモ

「知事は産み育てる環境をつくるというしながら、県立病院でなされていないのはいかがなものか」と怒りをあらわにした。自動償還は県が導入して各市町村に広がったが、足元の県立病院での未実施は盲点だったらしく、終了後には与党県議からも「いい質問だった」と声を掛けられたとか。

平成27年5月19日 沖縄タイムス

怒り心頭、盲点突く



記者席

「知事は産み育てる環境をつくるというしながら、県立病院でなされていないのはいかがなものか」と怒りをあらわにした。自動償還は県が導入して各市町村に広がったが、足元の県立病院での未実施は盲点だったらしく、終了後には与党県議からも「いい質問だった」と声を掛けられたとか。

平成27年12月5日 琉球新報

自動償還実施せず

中部病院 システム改修遅れ

子ども医療費助成金を直接、利用者の口座に振り込む「自動償還払い」。2013年11月のうま市を皮切りに導入は35市町村に広がり、県内医療機関の7割超が取り組む中で、県立中部病院で実施されていないことが3日、分かった。経費を削減するため電子カルテのシステム改修に併せて導入する予定が遅れている。県議会代表質問で中川京貴氏(自民)は「県は民間に動めておいて、県立病院がやらないのは間違っている」と批判した。

県健康長寿課のまとめでは、県内で導入しているのは薬局や歯科診療所を含む約1500施設。県病院事業局によると、県立では子ども医療費助成の利用が見込まれない精和と、中部を除く4病院が14年4月までに実施している。

平成27年12月4日 沖縄タイムス

県内交通網基盤整備について(鉄軌道)

問 社会資本整備を進めるに当たって、県土の有効利用と自然景観保全の調和を図りながら、鉄軌道を含めた陸上交通網体系を図る必要があるが、県の基本的な考えを伺いたい。

答 沖縄県は、県土の均衡ある発展、県民及び観光客の移動利便性の向上、中南部都市圏の交通渋滞緩和、低炭素社会の実現等を図る観点から、沖縄本島を縦断し、那覇一環状線を1時間ですべて結ぶ鉄軌道の導入が必要であると考えております。



まだまだ!

記者のメモ

2ルート主張 鉄の意志



〇…中部地区の公共交通網整備を訴える中川京貴県議(自民、中頭郡区)。これまで那覇から中部までの高速船の就航などを提案してきたが、9月定例会の一般質問では県が検討を進める鉄軌道整備に独自の考えを提案した。県の南北縦断に同調しつつ「那覇一環状線」を主張。謝花喜一郎企画部長から「県民と情報を共有し幅広く検討する」と引き出し「1千万人観光達成のために必要です」と念押しも忘れなかった。

平成27年10月5日 沖縄タイムス

中高買進学校について

問 平成28年4月スタートの球陽中学、開邦中学の進捗状況クラス数の増設は。

答 11月入学希望者募集、12月に適正検査等入学選抜を実施。本年1月入学予定者40名を決定。2月にオリエンテーション実施。4月開校に向けて整備を進め万全の体制を構築している。両県立中学校の実績や課題を踏まえ適切に対応する。



まだまだ!

〇…来年度開校する中高一貫校の関心の高まりを導く中川京貴県議(自民、中頭郡区)。開邦中と球陽中で各40人の定員だが、3月の説明会には親子が計2千人詰めかけた。県議会の2月定例会には執行部に3クラスの設置を提案したが、来年の開校は2クラスのため「生徒にとっては狭き門で、今後は定員を増やした方がいい。学習に励みたい子ども達の選択肢を増やしてあげたい」と希望している。

県議会は野党の立場だが「教育は保革関係なし。教育こそ最高の振興策だ」と熱弁する。

平成27年5月19日 沖縄タイムス

記者のメモ

教育には保革関係なし

子ども貧困問題について

問 早急に解決すべき最重要課題であるが、県の支援と市町村の支援対策状況について

答 子どもの貧困対策は子どものライフステージに沿って切れ目のない総合的な支援を行う必要がある。現在市町村においては、乳幼児期の養育訪問支援・小中学生期の就学援助など。県においては、高校生期に奨学のための給付金事業・ひとり親家庭、児童養護施設退所児童の自立支援など。生活困窮世帯への学習支援。子どもの医療費助成は県と市町村が連携し対策に取り組む。



まだまだ!

感謝の気持ちを持って行動で示し結果を残す政治!

有言実行「現場主義」

県発注工事最低基準価格について

県工最低価格95%に

県建設業審議会 引き上げを提言

問 現在の最低制限価格は、沖縄県財務規則に基づき、予定価格の70%から90%の範囲で設定をし、沖縄建設業審議会が予定価格の90%が適正であったと6月議会で答弁していたが、しかし現状では、平成26年度土木建築部発注工事において20%が入札不調となつています。最低制限価格を90%から95%に引き上げることによって、不調不落のない適正な入札制度が維持できると思いますが、県の見解を伺いたい。

答 沖縄県建設業協会等から、適正な利益の確保や人材育成等のために最低制限価格を引き上げるよう要請がありました。最低制限価格の見直しの必要性を検討するため、平成26年度にコスト調査を行い、その結果をもとに、去る8月に沖縄県建設業審議会に諮問を行ったところです。



まだまだ!

那覇空港第一滑走増設事業について

問 那覇空港の滑走路増設事業にかかる県内業者による分離分割発注がなされているか。総予算と経緯。県内企業への優先発注について

答 総事業費千九百九十三億円。県では機会のあるごとに県内建設業者への優先発注を要請。沖縄総合事務局において、発注ランクの緩和やJV講成員の最低出資比率の引き上げ分離分割発注など地元企業の受注拡大に配慮した発注方針を策定し、県内企業への優先発注を行ってまいります。優先発注を働きかけて参りたいと思います。



OK!



▲与那国町 台風21号被害 視察(牛舎のトタンが吹き飛ばされる)



▲石垣市 台風被害状況 視察



▲待機児童問題解決の為に光の子幼児学園視察(中央: 馳 浩 文部科学大臣)

「中川委員長」誕生?



記者席

〇…中川京貴県議(自民)は土木環境委員会で、県営住宅の家賃未納者のうち、世帯主の不慮の事故などで生活が苦しい人々向けの減額や免除の事例があるかどうかとたずねた。県執行部の答弁に対し、すかさず「委員長!」と手を挙げ反応し、矢張り早に質問。勢いに押されてか、新垣良俊委員長が指名の際に「中川君」でなく、「中川委員長!」と言い間違え、委員長らが爆笑する場面も。付帯決議も提出するなど、委員会全体を巻き込む熱い議論を展開していた。

平成27年3月28日 琉球新報

夢の懸け橋



記者席

〇…父親が伊是名村出身で、幼少時から「愛郷無限」の精神を教えられてきた中川京貴県議(自民)。土木委員長時代から懸案としてきた伊是名・伊平屋架橋の調査が本年度に実施予定で「両島民にとっての『夢の架け橋』を実現させたい」と意気込む。15日は伊是名村で開かれる尚丹王生誕600年祭に出席するため「島民にいい報告ができる」と胸を膨らませる。島にゆかりのある県議として夢を現実化する「懸け橋」としての努力を惜しまないようだ。

平成27年8月14日 琉球新報



▲伊是名村 前田村長、前川議長 フェリー尚門就航式

平成28年度沖縄県離島体験交流促進事業				
事業費(H28):251,987千円(うち委託料:250,486千円) 事業期間:平成24年度~平成33年度				
市町村	学校名	クラス	人数	
読谷村	読谷小	3	99	
〃	古堅小	3	86	
〃	渡慶次小	2	81	
中城村	中城小	2	65	
西原町	西原南小	2	54	

嘉手納悪臭調査について

問 米空軍嘉手納基地周辺で住民が悪臭による被害を訴えている。環境問題・大気汚染物質及び悪臭物質調査について

答 嘉手納町と協議して県環境審議会にはかり、来年度からの規制基準の設定に向け取り組む。



まだまだ!

嘉手納基地に悪臭基準

県と町 改善要求の根拠に

米軍嘉手納基地の周辺の航空機排ガスなどによる悪臭問題で、県と嘉手納町が悪臭防止法に基づき臭気を規制する基準値を来年度4月から設定することが2日、分かった。

県議会の9月定例会で中川京貴氏(自民)の質問に富間秀史部長が明らかにした。町と基準設定の調整を進めている県環境保全課は「悪臭防止法は工場や畜産など事業活動を対象としており、米軍基地の悪臭を原因として規制基準を設ける例は把握していない」として、全国でも初の事例となることになる。

米軍基地は日本の法律が適用されないが、地元自治体が臭気の基準を設けることで、悪臭が発生した場合に基準を上回らないよう米軍に対策の要請などを行う根拠となる数値を設定する意義がある。

また、富間部長は今年7月8日にかけて町内4カ所特定悪臭物質(トルエン、スチレン、キシレン)の数値を調査したが、環境基準や規制基準を下回っていたことも説明した。ただ、周辺住民からは長年苦情があることを受け、県は来年度以降も定期的に同様の調査を実施する考えだ。

平成27年10月3日 沖縄タイムス



▲安慶田副知事へ要請 嘉手納町議会 德里直樹議長、奥間常明基地対策委員長、町議団「相次ぐ外来機飛来による騒音激化に抗議する決議」要請(平成27年7月)

祝大型MICE施設マリントウン地区誘致決定祝賀会

保革を乗り越えた枠組みで 中部の振興策に!! MICE施設決定!!

中城村議会
與那覇議長西原町議会
新川議長中城
浜田村長北谷
野国町長沖縄県議会
喜納議長文化観光
前田部長

新里県議会議員

西原
上間町長金秀
呉屋会長

中川京貴

北中城
新垣村長

崎原(西原町)副村長

中部広域活性化へ期待!!

与那原マリナ視察
(H27.6定例会 一般質問)

大型MICE施設 マリントウン地区誘致 決定祝賀会(平成27年9月)

与那原マリナ全景航空写真



平成28年1月末現在



中城湾港 16年ぶりクルーズ船

県の大型MICEの概要(基本構想)	
収容人数	最大2万人
展示場	2万平方メートル
多目的ホール	約7500平方メートル (収容人数4千席)
中小会議室	約7500平方メートル (20~30室)
駐車場	5万平方メートル (収容台数2千台)
MICE開催回数	年間150件
来場者見込み	年間77万人
雇用効果	年間5400人
経済効果	年間400億円

ひやひやした



〇…中川京貴県議
(自民)は中頭郡区
選出の県議として県
が整備を進めるMI
CE施設の建設地が
西原町と与那原町に
またがるマリントウ
ン東浜に決定したこ

記者席

とを喜ぶ。正式決定前の5月中旬に地元嘉手納町の商工会の総会であいさつした際に「1週間後には西原・与那原に決まる」と予言したが「実は正式に決定したとは聞いておらず、勢い余って言ってしまった」とひやひやしたとのこと。知人からは「ユタみたいだね」との電話が絶えなかったそう。

平成27年6月18日 琉球新報

中城湾港マリントウン(西原町・与那原町)



問 本県におけるヨットハーバー整備の状況と今後の計画について

答 宜野湾港マリナや糸満フィッシャリーナを初め、公共マリナ等が8カ所、民間マリナが2カ所整備されています。また、現在、(仮称)与那原マリナを整備しており、今後、中城湾港(泡瀬地区)

観光振興について
(与那原マリナ)



小波津川改修工事 中部土木河川都市班による 平園地区住民説明会 西原町(平成27年9月)

問 平成27年9月15日西原町平園公民館にて小波津川事業住民説明会が行われた。中部土木の職員をはじめ、西原町職員・地域住民の皆さんとの意見交換の中で、地元の要望に沿った河川改修工事は進められているのか

答 平成27年9月に地元地域での説明会を開催。
事業延長: 3.8km
事業期間: 平成15年度~平成35年度
総事業費: 約85億円
進捗状況
整備済延長: 900m(平成27年度見込み)
進捗率: 約59% 事業費ベース 平成27年度見込み
平成28年度予算: 2億1千5百万円。
平成28年度内容: 護岸工。用地補償

小波津川河川改修事業について



雨による冠水被害状況説明を島袋公民館区長より 北中城村島袋地区現場視察(平成27年9月)

問 県と国が支援をして冠水被害を解決すべきではないか。

答 主に内水被害だと思っております。内水の処理として下水道の事業が当然北中城村が主体となるが、県が支援できるものは当然考えたい。県の事業については、地元の方々を応援して説明会等に参加していただいています。しっかりと対応したい。

島袋地区冠水被害について

屋良朝苗氏 功績後世へ 銅像、記念碑 読谷に建立



屋良朝苗誕生之地碑 除幕式(平成27年10月) 読谷村役場内

記者のメモ

朝苗氏顕彰で協力要請



○県議会12月定例会の一般質問で初代公選知事の屋良朝苗氏の顕彰事業への県の協力を求めた

中川京貴議員(自民、中頭郡)は、選挙区内の読谷村出身である屋良氏。銅像建立などを地元期成会が計画、寄付を募っている。読谷村は一括交付金の活用を検討したが、県との調整が付かなかった。一般質問で「本土復帰を実現し、豊かな沖縄を確立した偉大な政治家」と強調し、普通交付税の傾斜配分活用を提案。村出身で戦前の行政主席、比嘉秀平氏の銅像の必要性も訴え、地元愛をアピール。

OK!

平成26年12月20日 沖縄タイムス

北谷町 白比川改修工事 宇治原地区住民説明会(中部土木事務所 河川都市班 平成27年10月)

50年も洪水被害で苦しんでいる。地元から 白比川洪水被害対策の要望書がでており 住民との意見交換会が実現。工事が着工された。



平成28年3月現在

問 地域住民は当初案どおり「河川拡幅による防災事業を進めてほしい」と強く要請している。洪水被害から住民の安全と財産を守るのは県の責任で、防災事業の執行に当たっても防衛省や米軍に強く働きかけ、解決に向けて解決すべきである。

答 事業延長：1.0Km 事業期間：平成13年度～平成35年度 総事業費：約18億円 進捗状況 整備済延長：約0%(平成27度見込み) 進捗率：約69%(事業費ベース 平成27年度見込み) 平成28年度予算：1億2千4百万円 平成28年度内容：護岸工。用地については100%取得済み。



まだまだ!

読谷村座喜味 県道12号線電柱撤去(平成27年3月一般質問)



平成27年2月撮影



問 県道12号線沿い読谷村座喜味地域県道拡張工事に伴い、歩道の中央に電柱が設置され、利用する地域住民から早めに移動してほしいと要望があった。

答 南部国道事務所に対し、電柱の早期移設について申し入れしていたところ、南部国道事務所から電柱管理者との協議が整い、平成27年3月に移設完了。



OK!

県道74号線(平成27年10月一般質問)



国道・県道の維持管理(県道74号線)歩道に雑草が生い茂り歩行者が車道を歩いている。安全対策を問う。



OK!



2015. 9. 24 15:14



2015. 9. 24 15:07

読谷村 古堅給油所前 交差点補助灯器(矢印信号機)設置を要請。(H27.10月一般質問)



まだまだ!

嘉手納町・道の駅前交差点(交通事故多発地帯)左折信号設置を一般質問で要請 設置された。(平成27年10月定例会で確認することができます。)



OK!

県道74号線・道の駅から大湾交差点向け(久得牧原線) 交通渋滞対策について(平成27年10月一般質問)



平成28年3月

問 人身事故の45%は交差点で起きているが、その安全対策について。

答 (加藤警察本部長)嘉手納・道の駅交差点や国道道路入り口交差点等において追突事故が多発し、左折フリー方式から信号現示方式への変更や、左折矢印信号機を設置することにより安全と円滑化を図った結果、事故が減少した。交差点における事故防止に関しては、今後とも道路管理者等と連携し各種対策を進めてまいりたい。



まだまだ!